

14. 答申第198号に示された課題の整理に向けた取組(1)

【野田市】

野田市では、平成28年9月30日に「東京8号線（八潮－野田市間）先行整備に向けた庁内勉強会」を設置しました。

目的

- 平成28年4月20日に取りまとめられた交通政策審議会答申第198号「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」に位置付けられた、東京8号線の延伸（押上－野田市）に関し、八潮－野田市間の先行整備に向けて必要な諸課題の整理等に取り組み、もって東京8号線の早期事業化を図るために設置

構成

- 副市長、建設局長、市政推進室長、企画財政部長、自然経済推進部長、都市部長、市政推進室主幹、企画調整課長、商工観光課長、都市計画課長、都市整備課長及び鉄道建設促進担当

活動状況

《平成28年度》

- 鉄道整備に係る共通認識を深めることからスタートし、4回の勉強会を開催

《平成29年度》

- 当勉強会の取組をさらに推し進めるため、座長を副市長として体制を強化した上で、課題として示された開発計画の見直しをはじめ、想定している市内2駅周辺のまちづくり等具体的な内容について、協議検討

14. 答申第198号に示された課題の整理に向けた取組(2)

【野田市】

- 活動の一環として、同盟会で実施した「高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）事業化検討調査」をベースとして新たな調査（都市高速鉄道東京8号線整備検討調査）の実施を決定
- 当市単独での新たな委託調査のワーキンググループとしての役割を担う形で運営

《平成30年度》

- 都市高速鉄道東京8号線整備検討調査委員会（第2回）について報告
- 「野田らしさ」、「市域全体のまちづくり及び市内2駅周辺のまちづくりの方向性」について検討

《令和元年度》

- 令和元年度第1回都市高速鉄道東京8号線整備検討調査委員会資料（路線計画・建設計画、2駅周辺のまちづくりの方向性、野田市内2駅周辺の開発計画、需要予測・収支予測）について検討

14. 答申第198号に示された課題の整理に向けた取組(3)

【期成同盟会】

期成同盟会では、平成29年7月31日開催の平成29年度定期総会において、同盟会規約の規定に基づき、研究部会を設置することが決定されました。

当研究部会について、これまで野田市は、答申区間である埼玉県・千葉県側の研究部会に参加していますが、平成30年度より、延伸誘致を目指す区間である茨城県側の研究部会にもオブザーバーとして参加し、相互に情報の提供及び共有を図っています。

目的

- 答申第198号、国や県で示された課題等を整理するとともに、整備実現のために同盟会・県・各市町の考えの統一を図り、実現可能な事業計画の検討を行う

構成

- 各市町の課長職にある者
答申区間…草加市、越谷市、八潮市、吉川市、松伏町、野田市、（埼玉県、千葉県）
延伸区間…下妻市、常総市、筑西市、坂東市、八千代町、（茨城県）

開催方法

- 答申区間（八潮―野田市）と延伸区間（野田市―筑西市）では課題が異なるため、分かれて研究部会を開催
- 研究部会の招集・運営について、答申区間は会長市である野田市、延伸区間は坂東市がそれぞれ行う

14. 答申第198号に示された課題の整理に向けた取組(4)

【期成同盟会】

研究部会等の活動状況

《平成29年度》

- 平成29年11月10日 第1回研究部会【埼玉県・千葉県側】
 - ・同盟会構成11市町による全体研究部会として開催
 - ・今後の進め方として、東京8号線整備に向けた課題の整理として、各市町の沿線開発等の取組を優先的に取り扱うことを決定
 - ・野田市及び埼玉県内5市町、茨城県内5市町でそれぞれ構成される研究部会を平成29年度内に各1回開催することを決定
- 平成30年2月19日 第2回研究部会【埼玉県・千葉県側】
 - ・野田市及び埼玉県内5市町により開催
 - ・構成各市町のまちづくりについての情報交換と共通認識を図るため、その第1弾として、越谷レイクタウンのまちづくりに関する事例を紹介

《平成30年度》

- 平成30年10月19日 第3回研究部会【埼玉県・千葉県側】
 - ・野田市及び埼玉県内5市町により開催され、千葉県及び埼玉県がオブザーバーとして出席
 - ・前回の研究部会に引き続き、事例として、埼玉県から「平成28年度県内公共交通網検討調査（8号線）の概要」について、吉川市から「吉川美南駅周辺のまちづくり」について、八潮市から「八潮駅周辺のまちづくり」についてそれぞれ紹介

14. 答申第198号に示された課題の整理に向けた取組(5)

【期成同盟会】

研究部会等の活動状況

《令和元年度》

令和元年7月22日に開催された同盟会定期総会において、野田市長が会長に選任されました。

これに際し、研究部会の取組を充実、加速させるため、平成25・26年度に実施した「高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）事業化検討調査」の深度化調査として、同盟会構成11市町全体で、まちづくりを主眼に事業採算性、費用便益比の算定等を業務内容とする委託調査を、令和3年度の実施を目途として準備を進めることで出席者全員の賛同が得られました。

- ・上記を踏まえ、全体会として令和元年度第1回研究部会を開催（令和元年10月24日）
- ・千葉県、埼玉県及び茨城県がオブザーバーとして出席
- ・令和3年度度実施予定の同盟会委託調査の概略について検討するとともに、今後の調査をはじめとした取組の参考とするため、事例研究として、足立区より地下鉄8号線整備に向けた足立区の取組について紹介

《令和3年度》

●同盟会定期総会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、書面決議により開催し、高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）整備検討調査業務委託契約締結を含む7議題全てについて、全会一致で承認されました。

●高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）整備検討調査業務委託契約

上記定期総会の決議を受け、次のとおり、高速鉄道東京8号線（八潮～野田市間）整備検討調査業務委託契約を締結（令和3年6月18日）しました。

- ・調査期間
2021（令和3）年度から2024（令和6）年度まで
- ・契約相手方
一般財団法人 運輸総合研究所